

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今日から3月、弥生・花月・桜月・夢見月などの別名が語るように本格的な春の訪れが感じられる月なのだが、既に2月には春の気配を感じた人は多い

はずだ。

今月は多くの組織で4月からの新年度の準備をする時期でもある。タモリさん(78歳)は「フタタモリ」の来年度レギュラー番組を終了すると発表。思い返せば小倉智昭さん

老善と揶揄される政治家や長期にわたり団体の役職を重ねる関係者にはぜひ真剣に考えてほしい時期でもある。今後少子高齢化が加速する社会においては、今後の社会存続のためにも後継者育成は大切な

## 4月からの制度改正を知ろう

んは73歳で「とくダネ」を降板、そしてこの春は36年間「サンデーモーニング」の司会を務めた関口宏さんが80歳で降板する。

な視点だ。担う人材が欠如しているのではなく、これまで後継者を育てられなかった身を振り返ってほしい。

知ってから3年以内に相続登記しないと、原則10万円以下の過料が科される。

惜しまれながらも徐々に降板する晩年の引き際は、いつまでも地位に恋々としている

4月から変わる制度が気になる。土地や建物の相続をめぐるルールが大きく変わる「相続登記の義務化」。以

何代前の名義のままになっている不動産だと、手続きが非常に面倒になる事は明白だ。今から所有不動産の名義がどうなっているの

か、登記名義人から登記名義を取得する相続人を確定させるために、相続権者は誰なのか多大な手間が必要のため事前の準備が求められる難題でもある。

また4月に医師の働き方改革が施行される。医師を増やすための外国人医師を投入の意見もあるが、現状医師試験そのものが日本語で行われているため難しい状況だ。切り札とされるのが「病院の集約化」。都市部では可能と思われるが地方では課題もある。病院等の集約による廃院や診療科目の集約によって

が減少することは避けられないだろう。これまで当たり前前の生活が激変する社会を乗り越えるには、大規模な宅



国道148号森上地籍の多数の舗装破損状況には交通事故が心配になる

地開発などで人口増につなげる地域の活性化が急務だ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)